



# レスキューストックヤードと上町台地のコラボ 「減災キャラバンon上町台地」の様子をレポートします!

※(特活)レスキューストックヤードは、全国で災害救援や防災・減災活動を展開するNPOです。



減災にまつわる全国各地の  
エピソード取材して集めた「いのちをまもる智恵」を  
パネルにして、巡回展示!



「いのちをまもる智恵」の本と「減災キャラバンon上町台地」の案内チラシ

## ■ 2/1~2/7 應典院にて展示

### 減災キャラバンon上町台地

#### リレー・トーク1回目

#### 僧侶の覚悟~いつか出会う被災地への向き合い方

秋田光彦氏(大蓮寺・應典院住職)、  
五百井正浩氏(玉龍寺住職)

2月6日(金) 19:00~20:30 / 会場: 應典院本堂ホールにて

2/6



「減災キャラバンon上町台地」のリレー・トーク1回目は、下町町の應典院で開催。自身も僧侶である(特活)レスキューストックヤード代表理事の栗田暢之氏の進行により、神戸・長田区の寺院・玉龍寺の住職・五百井正浩氏からは、被災することの現実と阪神・淡路大震災に今も向き合いつづけることの意味が語られ、僧侶であることを常に自分に問い直すという應典院の住職・秋田光彦氏からは、「日常と非日常をつなぐ場所」である寺院が果たしうる役割の重要性が改めて述べられるなど、熱心な対話が展開しました。

U-CoRoプロジェクト・  
ワーキングも応援して  
います! 上町台地災害史  
パネルを提供。



2/1~2/7に実施された、減災キャラバン第1回目の下町町應典院での展示の様子

2007年秋・冬のU-CoRoウィンドウ・エキジビション03で、はじめて上町台地に届けられたストーリーブック「いのちをまもる智恵 減災に挑む30の風景」。その発行者(特活)レスキューストックヤードの主催で、2009年2月、1か月間にわたって「いのちをまもる智恵」の巡回パネル展示とリレー・トークを繰り広げる「減災キャラバンon上町台地」が行われました。上町台地界隈の寺社や地域の文化複合施設など4つの魅力あふれる会場をめくりながら、地域の文化やまちづくりのなから減災を考えていく素晴らしい協働プロジェクトでした。



2月1日~28日の期間、  
上町台地の4か所で順に  
パネル展示を開催。各会場  
ならではのテーマゲストを  
迎え、リレー・トーク  
などが行われました。



- 展示開催期間・場所
- 應典院 = 2月1日(日)~7日(土)
- 練 = 2月8日(日)~14日(土)
- 高津宮 = 2月15日(日)~21日(土)
- 高津宮 = 2月22日(日)~28日(土)

主催: (特活)レスキューストックヤード  
共催: 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、應典院、  
高津宮、からほり倶楽部 他  
協力: 練、直木三十五記念館、  
CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング 他

連続4回の'リレー・トーク'には、さまざまな立場から、地域の人や専門家が登場! 真剣な対話が繰り広げられました。

# 上町台地で「リレー・トーク“その日”」に備える、“その日”と向き合う」を展開。

2/8~2/14 萌にて展示

2/15

減災キャラバンon上町台地

まち歩きトーク

「“その日”の前に…上町台地を歩き、記憶する」

2月15日(日) 13:00~ 練りに集合・出発~高津宮



今回の「減災キャラバンon上町台地」パネル展のもとになった本『いのちを守る智慧』。その取材にあたった(特活)海外援助市民センター・スタッフの吉橋雅道さんと、デザイン・レイアウトなどを担当した大阪大学コミュニケーションデザイン・センターの花村周寛さんが、「未来の被災地」上町台地をめくりながら、国内外の被災地での話や冊子づくりのプロセスなどを振り返り、重ね合わせながらトーク・セッションを行いました。「人が文化を守るだけではなく、文化に人が守られることもある」という問い掛けは、上町台地で地域文化を見つめ

直すことの意義を教えてくださいました。

路地のまちでも、今の町並みや関係性を維持しながら、減災につなげていく道があるはず!

ロジモク減災勉強会

防災マップの基本の「キ」

~流行の地域マップづくりの真の目的は

寺本弘伸氏 ((特活)日本災害救援ボランティア・ネットワーク常務理事)

2月19日(木) 19:00~ /会場: サロンdeありす(練2階) /

主催: からほり倶楽部 / 共催: ロジモク研究会、CEL/U-CoRo



今年度最後のロジモク減災勉強会は防災マップについて学ぶ機会でした。防災はもとより防犯や福祉、環境などさまざまなテーマで、身近な地域でのマップづくりが盛んですが、そこに込める思いや願い、仕掛けなどについて今回もまさしく基本のキから学びました。講師は(特活)日本災害救援ボランティア・ネットワーク常務理事の寺本弘伸さん。各地でマップづくりを展開される寺本さんから、マップづくりが抱える課題も含めてたくさんの方の教示をいただきました。

減災キャラバンon上町台地

リレー・トーク2回目

対話の覚悟~“その日”をともにする他者への向き合い方

呉光現氏 (聖公会生野センター総主事)、  
瀧美公秀氏 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)

2月13日(金) 19:00~20:30 /

会場: 直木三十五記念館(萌2階)にて

萌1階のほか、直木賞で知られる直木三十五記念館の内部にもパネルを展示

2/13



リレー・トーク2回目は直木三十五記念館で開催されました。「対話の覚悟」というテーマで、コリアタウンから聖公会生野センターの呉光現さんと大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授の瀧美公秀さんが対談。神戸でのボランティア経験などお二人の日々の実感がこもるやりとりから、「その日」に向けた「対話の積み重ね」、「共存から共生へ向かう関係性づくり」、「Eメールなどでは伝わらないものが伝わる手紙などの対話の方法の見直し」など、少しずつでも取り組んでいくべきことが浮かび上がってきました。

ロジモク減災勉強会も継続して展開中!

ロジモク減災勉強会

神戸長田聞き歩きツアー

1月31日(土) 主催: からほり倶楽部 / 共催: ロジモク研究会、CEL/U-CoRo

1/31



ロジモク減災勉強会では震災から14年が経った神戸長田を訪れました。市民とともに復興に取り組んできた建築家・松原永季さんの案内で、空堀商店街界隈に似た路地と長屋と商店街のまち長田が、14年でもどのように変貌してきたのか、また火災や倒壊を何とかくり抜けてきたまちのその後はどうかを、実際に見てきました。路地を守ろうという想いで復興まちづくりに取り組んできた野田北部、旧集落の風情が残った駒ヶ林、再開発が進んだ大正筋などを見聞しながら、空堀商店街界隈のいつか来る“その日”以降に想いを馳せました。

## 減災キャラバンon上町台地

2/20

## リレー・トーク3回目

## 避難所の覚悟～避難してくる被災者への向き合い方

小谷真功氏(高津宮宮司)、  
田中保三氏(阪神淡路大震災まち支援グループ「まち・コミュニケーション」顧問)  
2月20日(金) 19:00～20:30/会場:高津宮(高津の富寧)にて



「減災キャラバン on 上町台地」のリレー・トーク3回目は梅の香り漂う高津宮・高津の富寧で開催されました。今回は「避難所の覚悟」というテーマで、高津宮宮司の小谷真功さんと神戸長田で震災復興にたずさわってこられた田中保三さんによる対談。神戸での震災時の教訓をお聞きするとともに、上町断層が動くとき、地域の方々が避難してくる可能性がある高津宮としての覚悟や悩みを打ち明けていただきながら、来場された氏子さんたちも加わって活発な意見が交わされました。



境内と隣の公園では、梅の花が満開。地震が起こればこの場所も、避難所になるのかも!?

## 2/22～2/28 練にて展示



1階でパネル展示中の練の2階広間で第4回目のリレー・トークを開催しました。長屋のまちで想像される被害について神戸長田の実例をもとに大阪大学の菅磨志保さんから説明を受け、からほり界隈の路地のまちなみを愛し続ける六波羅雅一氏と白石喜啓氏は、それぞれの立場から現実を受けとめたくて、地域の智慧を積み重ねながら、いかにして防災や減災の実を上げていくかなどについて語り合いました。

## 減災キャラバンon上町台地

## リレー・トーク4回目

## 路地の覚悟～長屋のまちでの“その日”への備え方

六波羅雅一氏(からほり倶楽部代表理事)、  
白石喜啓氏(有)ライフ・ステージ代表取締役、地域住民)、  
菅磨志保氏(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター講師)  
2月27日(金) 19:00～20:30/会場:サロンdeありす(練2階)にて



2/27

## 減災キャラバンon上町台地

## 減災カフェ on 上町台地～“その日”が垣間見えましたか?

3月13日(金) 19:00～21:00/会場:サロンdeありす(練2階)にて



3/13

「減災キャラバンon上町台地」のクローズングイベントを練の2階で開催。巡回パネル展の開催先の方々やリレー・トーク登壇者が一堂に会し、1か月にわたった今回の活動を振り返りながら、地域の特性を踏まえつつ進められるべき、減災活動のこれからについて語り合いました。多くの課題を抱えながらも、こうした活動の一つのステップとし、それぞれに得たものが地域に芽吹いて、次の展開を生み出していくことが期待されます。

## U-CoRo 制作による上町台地立体模型が練の1階に常設展示されました。

いつでも見に行けるから、地域学習の素材としても活用できそう!!



昨年U-CoRoで制作・展示した上町台地の立体模型が、地域学習の素材として活用していただくことを目的として、からほり界隈のお屋敷再生複合施設・練1階に恒久的に設置されることになりました。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。